

# 住宅耐震改修特別控除を受ける方の記載例

給与所得について年末調整を受けた方で、住宅耐震改修特別控除を受ける場合

**手順1**  
7ページ参照

**手順2**  
8ページ参照

**手順3**  
12ページ参照

00 税務署長 29年 2月 16日 平成 28 年分の 所得税及び復興特別所得税の確定申告書A		FA0112
住所 (又は居所) 〇〇市△△町X-XX-X	個人番号 XXXXXXXXXXXXXXXXXX	第一表 (平成二十八年分以降用)
氏名 国税 太郎	性別 男	国籍 日本
生年月日 3/48/11/16	電話番号 XX-XXXX-XXXX	

  

収入金額等	与 ①	7140000	税	課税される所得金額 (50-20)	2636000
雑 公的年金等 ②			上の②に対する税額	166100	
配 当 ③			配当控除		
一 時 ④			所得税	126600	
合 計 (①+②+③+④)	⑤	5226000	復興特別所得税額 (98 × 2.1%)	829	
所得金額	給与 ①	5226000	所得税及び復興特別所得税の額 (30+35)	40329	
雑 ②			外国税額控除		
配 当 ③			所得税及び復興特別所得税の 源泉徴収税額	169500	
一 時 ④			所得税及び復興特別所得税の 繰戻金	00	
合 計 (①+②+③+④)	⑤	5226000	還付される金 (30-35)	129171	
所得から差し引かれる金額	社会保険料控除 ⑥		配偶者の会計所得金額		
小規模企業共済等掛金控除 ⑦			課税所得		
生命保険料控除 ⑧			課税所得		
地震保険料控除 ⑨			未納付の所得税及び復興特別 所得税の源泉徴収税額		
寡婦、寡夫控除 ⑩	0000		申告期限までに 納付する金額	00	
勤労学生、障害者控除 ⑪	0000		延納届出額	000	
配偶者(特別)控除 ⑫	0000				
扶養控除 ⑬	0000				
基礎控除 ⑭	0000				
⑯から⑳までの計	⑩	2589196			
雑損控除 ⑰					
医療費控除 ⑱					
寄附金控除 ⑲					
合 計 (⑯+⑰+⑱+⑲)	⑳	2589196			

**手順4**  
24ページ参照

**手順4**  
22ページ参照

**手順5**  
26ページ参照

**手順5**  
26ページ参照

マイナンバー(個人番号)を記入する必要があります。

明治・・・「1」  
大正・・・「2」  
昭和・・・「3」  
平成・・・「4」

該当する事項がある方のみ記入します。

還付される税金がある方のみ記入します。

- ◎ 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから記入します。
- ◎ 申告書は、黒いインクのボールペンで、強く記入します。  
※ この記載例では、記入した部分を便宜上青色で表示しています。
- ◎ 申告書の該当する箇所は必ず記入します。
- ◎ 2枚目は複写式の控えになっていますが、取り外して使用しても差し支えありません。申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。
- ◎ この記載例では、「平成28年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」の該当ページを示しています。詳細については、「平成28年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」を参照してください。
- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にならって、マス目の中に丁寧に記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にならって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にならって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。

住宅耐震改修特別控除を受ける方の記載例



【ご注意】

◎ 支払者から受領した「給与所得の源泉徴収票（原本）」を添付書類台紙に貼って提出しなければなりません。

（参考） 「給与所得の源泉徴収票」

平成28年分 給与所得の源泉徴収票

支払 を受ける 者	住所 又は 居所	〇〇市△△町×-××-×										(受給者番号)	
												(役職名)	
		氏名 (フリガナ) コクゼイ タロウ					名 国税 太郎						
種 別		支 払 金 額			給 与 所 得 控 除 後 の 金 額			所 得 控 除 の 額 の 合 計 額		源 泉 徴 収 税 額			
給与・賞与		内	千	円	千	円	千	円	内	千	円		
		7	140	000	5	226	000	2	589	196	169	500	
控除対象配偶者の有無等		配偶者特別控除の額		控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)				16歳未満扶養親族の数	障害者の数 (本人を除く。)		非居住者である親族の数		
有	従有	千	円	特 定	老 人	そ の 他	人	人	特 別	そ の 他	人		
○				1						1			
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額			地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額						
内	千	円	千	円	千	円	千	円	千	円	円		
	1,073	196	105	000	21	000							
(摘要)													
生命保険料の内訳		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円		
新生命保険料の金額		25,000	旧生命保険料の金額		35,000	介護医療保険料の金額		90,000	新加入年金保険料の金額				
住宅借入金等特別控除の内訳		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円		
住宅借入金等特別控除(1)の金額													
住宅借入金等特別控除(2)の金額													
控除対象配偶者		(フリガナ) コクゼイ リョウコ		区分	配偶者の合計所得		円	国民年金保険料等の金額		円	円		
氏名		国税 良子											
個人番号													
控除対象扶養親族	1	(フリガナ) コクゼイ イチロウ	区分	(フリガナ) コクゼイ シロウ		区分	(備考)						
	氏名	国税 一郎		氏名		国税 二郎							
	個人番号			個人番号									
	2	(フリガナ)	区分	(フリガナ)		区分							
氏名			氏名										
個人番号			個人番号										
3	(フリガナ)	区分	(フリガナ)		区分								
氏名			氏名										
個人番号			個人番号										
4	(フリガナ)	区分	(フリガナ)		区分								
氏名			氏名										
個人番号			個人番号										
未 成 年 者	外 国 人	死 亡 退 職	災 害 者	乙 種	本人が障害者 特 別	基 本 特 別	勤 労 学 生	中途就・退職		受給者生年月日			
								就職	退職	年	月	日	
										28			
										○	48	11	16
支 払 者	住所(居所) 又は所在地	〇〇区〇〇 ×-×-×											
	氏名又は名称	〇〇産業株式会社 (電話) ××-××××-××××											

**【住宅耐震改修特別控除額の計算明細書（平成26年4月1日以後に住宅耐震改修をした方用）】**

**住宅耐震改修特別控除額の計算明細書**  
(平成28年4月1日以後に住宅耐震改修をした方用)

(平成28年分) 氏名 国枝太郎

提出用

この明細書は、平成26年4月1日以後に住宅耐震改修をして住宅耐震改修特別控除を受ける場合に、住宅耐震改修特別控除額を計算するために使用します。  
詳しくは、控用の裏面の「住宅耐震改修特別控除を受けられる方へ」を読んでください。  
なお、平成26年3月31日以前に住宅耐震改修をしてこの控除を受ける場合には「住宅耐震改修特別控除額の計算明細書（平成26年3月31日以前に住宅耐震改修をした方用）」を使用してください。

○ 住宅耐震改修特別控除額の計算

住宅耐震改修に係る耐震工事的な標準的な費用の額	①	1,666,000		
①に関し交付を受ける補助金等の合計額	②	400,000		
(① - ②)	③	1,266,000		
住宅耐震改修に係る耐震改修工事限度額	④	2,500,000		
③と④のいずれか少ない方の金額	⑤	1,266,000		
住宅耐震改修特別控除額 (⑤ × 10%)	⑥	126,600	(100円未満の端数切捨て)	

○ この明細書は、申告書と一緒に提出していただく。

○ 住宅耐震改修特別控除の適用を受けるための手順と必要な書類

住宅耐震改修をしてこの控除を受ける方は、「住宅耐震改修特別控除額の計算明細書（平成26年4月1日以後に住宅耐震改修をした方用）」で控除額を計算し、申告書第一表の「税金の計算」欄の「住宅耐震改修特別控除、住宅特定改修・認定住宅新築等特別税額控除」欄の「住宅耐震改修特別控除」の文字を○で囲み、「区分」欄に「1」を書き、控除額を転記してください。

また、上記の計算明細書のほか、住宅耐震改修証明書などの書類を確定申告書に添付して税務署に提出する必要があります。

詳しくは、上記の計算明細書（控用）裏面の「住宅耐震改修特別控除を受けられる方へ」を参照してください。